

南極・昭和基地とライブ中継!

東小学校児童が「南極教室」に参加

6月8日、飯山市立東小学校で「南極教室」が行われ、3年生～6年生の児童37名が参加しました。

南極教室は大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所が開催。地球環境や地球の歴史、更には宇宙について考えてもらうため、今年度全国10校のうちの一校として東小学校が参加したもので、南極・昭和基地で活動を行っている南極地域観測隊員と児童が生中



継で交信し、児童が事前に考えた質問に観測隊員が答える形式で行われました。

この日は長野市出身で第62次南極地域観測隊 重点研究観測担当の杉山玄己さんが主帯でしたが、生中継ではまるで夜中のような暗い風景が映し出されると杉山隊員から南極では今の時期「極夜」と言い、1日中夜のように真っ暗であること、昭和基地はオーロラの観測もできること、

児童から出された質問 (抜粋)

- ・北極と南極の違いは?
- ・南極に季節はあるの?
- ・基地ではどんな仕事をしているの?
- ・日本から昭和基地への行き方は?
- ・南極の空気は昔と違うの?
- ・カゼをひかないの?
- ・南極に恐竜はいたの?



説明や映像をタブレットで撮影する児童も

などの説明を聞き、実際に発生したオーロラの映像が映し出されると児童の皆さんは自分が見るタブレットで撮影しながら、真剣な表情で見ました。

その他、児童から事前に出された質問に対しては、他の隊員も登場し、スライド形式の資料を使いながら丁寧に説明がありました。

スポーツでの健康増進をお手伝い スポーツ推進委員をご紹介します

令和3・4年度のスポーツ推進委員の皆さまをご紹介します。

スポーツ推進委員とは、スポーツ振興法に基づき、市民の皆さまにスポーツの実技指導と、スポーツに関する指導・助言を行い、地域スポーツの普及と推進の担い手として



て、小学校の親子レクや公民館事業でのニュースポーツ指導、児童クラブ向けのニュースポーツ教室など、地域の方々の皆さまへスポーツの楽しさを伝える活動を行っていただきます。

お問い合わせ・申請書提出先
飯山市スポーツ推進室
☎6710746

ありがとう! アレックス先生

ALT (外国語指導助手)として、平成29年から城北中学校での英語の授業を担当していたモーリー・アレクサンドラ先生が5月末で退任されました。

在任中は「アレックス先生」として生徒に親しまれ、最後の授業では生徒からのお礼のメッセージが黒板に書かれ、生徒が別れを惜しんでいました。

飯山市では、小中学校の児童生徒の皆さんに生きた英語を学んでいただくため、外国人ALTを各小中学校に配置しています。



城北中学校で最後の授業に臨むアレックス先生。

教科書展示会を開催します

市内の小・中学校で使用されている教科書見本を展示します。ぜひ手に取ってご覧になりませんか。

- 【場所】 市立飯山図書館
- 【期間】 6月19日(土)～7月7日(水)
※月曜休館
- 【時間】 平日 午前9時30分～午後6時
土・日曜日 午前9時30分～午後5時

飯山市スポーツ推進委員

(令和3年度・4年度 敬称略)

- 会長 竹内亨 (飯山地区推薦)
- 副会長 村越実 (瑞穂地区推薦)
- 委員
- 根食 しのぶ (飯山地区推薦)
 - 中村 香織 (飯山地区推薦)
 - 大平 剛志 (秋津地区推薦)
 - 堀田 学 (木島地区推薦)
 - 小嶋 英治 (柳原富倉地区推薦)
 - 関 孝和 (外様地区推薦)
 - 齋藤 真彦 (常盤地区推薦)
 - 小川 直樹 (太田地区推薦)
 - 渡邊 一聖 (岡山地区推薦)
 - 田中 淳 (教育長推薦)

7月17日・18日の2日間 北竜湖で開催 第42回北信越国民体育大会 カヌー競技

第42回北信越国民体育大会カヌー・スプリント競技が、7月17日(土)・18日(日)の2日間、瑞穂地区の北竜湖で開催されます。



カヌー・スプリントは、流れのない川や湖、ダム、港などに直線コースを設置し一斉にスタートして着順を競う競技で、500mと200mの2種目で行います。

夏休み体験教室 カヌー教室

2028国スポ(「国体」の新たな呼称)会場にもなる北竜湖で、カヌーの楽しさ、魅力を体験してみませんか。

- 期日 (下記の3回はいずれも同じ内容) 8月2日(月)、8月3日(火) 8月4日(水)
- 時間 午前9時～12時
- 会場 北竜湖
- ※各日8時30分飯山市公民館集合で送迎します。(現地集合は8時45分集合)
- 参加対象学年 小学校1年生～中学校3年生
- 定員 20名
- 材料費 2000円/1回 (レンタル・保険料)
- 申込期間・申し込み先
・申込期間 7月1日(木)～7月12日(月)
・申込先 飯山市公民館 ☎62-3342
- ※詳しくは学校から配布された「夏休み体験教室」のチラシをご覧ください。

人権学習 シリーズ

飯山小学校 校長 中村新治

すべては子どもたちの笑顔のために

飯山市民のみならず、初めてまして。今年度から飯山小学校に着任いたしました。よろしくお願いたします。

私は、四月からほぼ毎日学校の前で登校してくる子どもたちや通りかかる地域の方々にあいさつをしています。コロナ禍でみんなマスクをしているので、最初のころは「この人誰?」みたいな怪訝な顔であいさつを返してくれていました。今ではとても元気よく進んであいさつしてくれたり、お話をしてくれたりします。笑顔の子が多い中で、「今日は元気がないなあ」と気になる子も時々います。

では、子どもたちがいつも笑顔でいられるために私たち大人が気をつけることは何でしょうか?

それは、子どもたちの個性を尊重し成長を見守っていくことです。まだまだ成長途中の子どもたちも、生まれながらに一人の人間として守られるべき「人権」を持っています。

例えば、こちらが何かをしているときに子どもが静かに過ごしていきながら、授業参観などの際に元気に活動や発言をしているときにも、ついつい私たち大人は「いい子だね」の一言で済ませがちです。でも、子どもの立場からすると、静かにしていても、元気にしていても「いい子」では混乱してしまいます。その場面にあつて、大人の都合で価値基準が変わっているからです。こんなときこそ「I(愛)メッセージ」の出番です。I(私)の思いをきちんと伝えましょう。例えば「静かに絵本読んでいてくれてたおかげで、お母さん、洗剤物が早くできたよ。ありがとう」といった感じです。こう言われてうれしくない子はいません。ちょっとした心がけで、子どもたちの笑顔を増やしていきたいでしょう。